

議会だより



8月定例会市議会の予定	日程	内容
	8月24日(木)	開会
	8月30日(水)	一般質問
	8月31日(木)	一般質問
	9月1日(金)	一般質問
	9月4日(月)	一般質問・質疑
	9月5日(火)	委員会
	9月6日(水)	委員会
	9月7日(木)	委員会
	9月14日(木)	閉会

※各日午前10時開始予定です。

特集① 総務生活委員会 行政視察レポート 2ページ

特集② 議会運営委員会 行政視察レポート 3ページ

主な内容 6月定例会市議会 4ページ

一般質問 6ページ

委員会活動報告 14ページ

全国から総社市へ! ~議会行政視察受入増加中~ 16ページ

総務生活委員会は令和5年1月19日・20日に行政視察を行いました。

静岡県掛川市

「DX推進・AIを利用した住民問い合わせサービスについて」「大規模災害に対する防災の取組について」の2点を視察しました。今後人口減少に伴い市職員が半減しても、まちとして十分な機能を維持することを目的としデジタル化を進めています。スマートフォンを利用した「手のひら



掛川市の「手のひら市役所」のイメージ

市役所」は、どこからでも行政手続きを行うことができ、来庁した際にも「書かない窓口」を実現します。またこうしたデジタル機器の操作が苦手な方に対し講習会を開催するなど「誰一人取り残されない、人に優しいデジタル化」を推進しています。総社市は令和6年度末より新庁舎の供用を開始しますが「書かない窓口」や、そのためのデジタル機器利用促進など、ぜひとも取り入れたいところです。防災については、東海地震や南海トラフ地震が想定される東海地方沿岸部ということもあり、非常に高い意識と危機感を持った取組がされています。災害時に設置される災害対策本部は、細部まで系統立てて編成されており、自治会単位での自主防災組織活動も活発に行われています。災害時応援協定も数多く結ばれ、有事の際に対する心構えを強く感じました。また、県の防



豊橋市での研修の様子

愛知県豊橋市

「ドローンの全庁的な活用について」を視察しました。豊橋市は全庁から募集した職員で「ドローン飛行隊」を結成しています。様々な部局に隊員が操縦者を置くことで、有事の際にはより迅速に行動でき、部局間の情報共有にも役立っています。豊橋市も掛川市と

防災強化事業と連携し、レベル2の津波にも対応する堤防の施工にも取り組んでいます。



犬山市にて犬山市議会副議長の挨拶

令和5年2月2日・3日の両日、議会運営委員会で通年議会や議会ICTなど議会改革について、愛知県犬山市議会と大阪府大東市議会を行政視察しました。

愛知県犬山市議会

通年議会とは「議会の会期を約1年とし、その間は議会の判断で必要に応じて会議を開くことができること」です。総社市議会においてはすでに被災時や緊急時において当局側と連携が取れているので、急いで導入する必要はないと感じました。

大阪府大東市議会

議会ICTについては、紙資源の削減や資料の劣化防止・検索のしやすさなど業務効率化が図れ、また議員間のコミュニケーションの向上や時間経費の削減などのメリットも多く、議会ICTのためにも両市ともすでにタブレット端末を導入済みです。

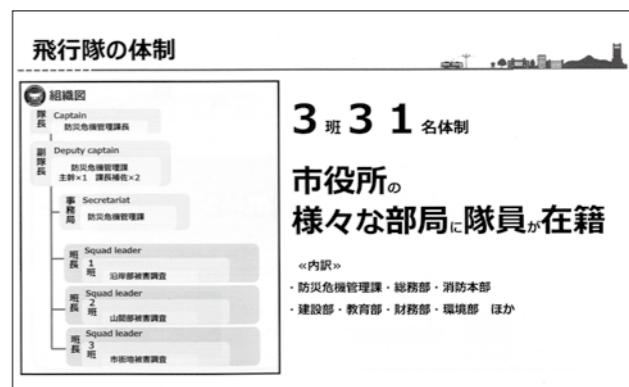
我が総社市議会でも令和5



大東市にて議会運営委員長の挨拶

年10月からタブレット端末を導入予定です。また、より開かれた議会をめざす大東市議会では夜間・日曜議会も開かれ、コンサートや講演会などが議場で開催されており、大変参考になりました。今後、総社市議会においてももっとしっかりと議会運営委員会で協議を行い「市民の皆様により開かれた議会」を目指したいと思います。

(小野耕作)



豊橋市のドローン飛行隊員は各部局に在籍している

総社市は今後も人口増を指しますが、近い将来減少に転じる日も訪れます。継続して快適な生活を送るためにはデジタルの活用が必須でしょうし、災害時に皆さんの命と財産を守ることは言わずもなです。これからの議会はそのための適切な事業計画・予算執行を見守っていきます。

(荒木将之介)

同様に東海地方沿岸部の都市であるため、防災に対する意識は非常に高いと感じました。

議長交際費執行状況

【令和5年4月～令和5年5月分】

「総社市議会議長交際費の支出基準及び公表に関する要綱」に基づき、議長の交際費の執行状況を公表します。(単位：円)

Table with 4 columns: 支出区分, 支出年月日, 支出金額, 支出先等. Includes rows for '激励金' (10,000 yen) and '4月からの累計' (10,000 yen).

【訂正とお詫び】

議会だより2023年5月号 (Vol.74) の掲載内容の一部に誤りがございました。次のとおり訂正させていただきますと、深くお詫び申し上げます。訂正箇所 13ページ 高谷議員の一般質問の文章中 訂正内容 誤：吉川 天乃(そのの) 選手 正：吉川 天乃(そらの) 選手

吉川 天乃選手

総社市出身。2022年、第73回全国高等学校バドミントン選手権大会で女子シングルの部優勝。岡山県勢では56年ぶりの優勝という快挙を成し遂げられました。

6月定例市議会

6月定例市議会を6月9日から6月29日までの21日間の会期で開き、議案8件、報告5件、承認7件、同意15件、請願2件、陳情1件の審査を行い29日に閉会しました。

【可決】令和5年度総社市一般会計補正予算(第2号)

電力・ガス・食料品等の価格高騰で家計への影響が大きい低所得世帯(住民税非課税世帯等)を支援するため、重点支援給付金(2億1100万円)を支給する補正予算を全会一致で可決しました。

【可決】令和5年度総社市一般会計補正予算(第3号)

児童・生徒等(小・中)学校給食費実費徴収金2億962万5千円(2・3学期)を無償化。物価高騰等により、家計に影響を受けている未就学児のいる世帯への給食費等支援金として、0・2歳は月額2千円、3・5歳は月額4千円を

保護者へ支給するための予算8830万4千円。

給食費等支援事業を実施するに当たり、市外の学校へ通学している者など、学校給食費の提供を受けていない児童生徒について給食費相当額の支援を行うとする事業に1015万円。

結婚の希望がある方に対して、出会いの機会を提供する事業に百万円。

令和5年度ワクチン接種事業の予算5億1524万7千円。

山手保育園老朽化に伴う増改築及び認定こども園化への補助のための、国の補助単価改正による増額分2294万6千円。

令和6年4月の義務教育学校開校に向けて、表札・案内看板等の変更に係る経費732万6千円。

以上の補正予算を全会一致で可決しました。

【可決】財産の取得について

総社市消防本部において必要な高規格救急自動車を購入することを全会一致で可決しました。(予定価格が2千万円以上は議会の議決が必要のため)



高規格救急自動車(参考)

【可決】令和5年度総社市国民宿舍事業費特別会計補正予算(第1号)

国民宿舍サンロード吉備路の施設劣化状況調査に基づき、緊急を要する修繕に対応するため、その修繕費1200万円を増額する補正予算を全会一致で可決しました。

【可決】令和4年度総社市一般会計補正予算(第12号)から総社市職員給与条例の一部改正

令和4年度総社市一般会計補正予算(第12号)から総社市職員給与条例の一部改正

の7件についてそれぞれ全会一致で承認しました。

本市の農業委員会の委員に秋山陽太郎氏、奥山弘志氏、飯谷昌典氏、小西忍氏、小原弘氏、在間洋則氏、定井正雄氏、友野伸樹氏、中村安行氏、能登谷和正氏、林眞理氏、守安淳市氏、若林勤氏、渡邊則文氏、渡邊豊氏の15人を任命することに同意しました。

教職員定数改善と義務教育費国庫負担率引き上げを高めるための2024年度政府予算に係る意見書採択の請願を採択しました。

地方財政の充実・強化を求める請願書を採択しました。

新市庁舎屋上展望台計画の見直しと中止に関する陳情書を不採択としました。

報告について

市設置看板の管理瑕疵に係る和解及び損害を賠償すること等5件の報告がありました。

令和5年6月定例総社市議会 付議事件採決一覧表

Table with columns: 番号 (Number), 件名 (Item Name), 結果 (Result). Lists various council resolutions and their outcomes.

令和5年6月定例総社市議会で賛否の分かれた議案等に対する賛否状況

Table showing approval/disapproval status for various proposals, with columns for council members and their votes.

(凡例) ○:賛成 ×:賛成でない 退:退出 欠:欠席 ・賛否の確認は、議長及び事務局職員の目視により行っています。・村木理英議員は、議長のため採決には加わりません。

問 秋の市長選挙に向けて5期目の挑戦をするのか



答 総社市の更なる発展のために市長選挙に立候補したいと思う

深見昌宏

問 4期16年の総括をどう考えるか。

市長 初当選以来、基本的には弱い立場にある方のために頑張ってきた。そして日の当たらない部分に対する政治を行ってきた。雪舟くんシステム、人事考課制度、10大学との連携、67市町村との災害支援協定等を行ってきた。そしてこの16年間に貯金、税収、企業数も右肩上がりになってきた一方、地域格差が広がっているのも現状である。

問 5期目に挑戦する想いどうか。

市長 総社市がさらに進化・成長するために挑戦し続け、いろいろな分野で全国屈指のまちにしたいと思う。

地方自治体がやるべきDXについて

問 地方自治体がやるべきDX(デジタルトランスフォーメーション)推進の意義についてどのように考えるか。

市長 市民の利便性の向上、職員の仕事量の軽減、そして市が発展していくためのツールであると考えます。

問 全庁体制で計画的な取組ができているか。

市長 2年後の新庁舎の完成に併せて進めていけばいいと思っていたが、それでは遅いと関係職員に申し伝えている。

問 GPS購入費助成に知的、精神障がいのある方々を対象とする考えはないか



答 SOS(そうじゃ・おかえり・サポート)システムと共に助成対象としていきたい

山名正晃

人口増施策について

問 地域課題解決や魅力発信のため、地域おこし協力隊員を積極採用する考えはないか。

市長 本市が求めている人材を確保できるよう、短期型の「おためし地域おこし協力隊」や「地域おこし協力隊インターン」の制度も活用しながら、積極的に迎え入れていきたい。

障がい者施策について

問 障がいのある本人、家族、親同士が話し合いや情報交換ができる場づくりのためのピアサポートの推進を後押ししてはどうか。

市長 障がいという同じテーマをもっている親同士がサポートし合えるよう、今後、協議、構築していきたい。実現すれば全国でも画期的なものになっていくと考えている。

就学準備について

問 公立小学校への就学準備情報を就学前健診時に資料提供、配布はできないか。

教育長 健康診断時の資料提供ではなく、今年度から各小学校のホームページに入学のしおりを掲載し、参考にさせていただきたいと考えている。校則の見直し等もあるので変更の可能性がある注意点も載せていきたい。

市有財産について

問 未利用の土地、車両、備品をオークションやネットショップでの販売を考えないか。

市長 オークションや自治体連携を含め、売却を積極的に進めていきたい。

問 東総社駅を中心としたまちづくりについてどう考えるか



答 東総社駅の利用の在り方については、これから色々工夫を凝らして考えたい

小川進一

問 東総社駅から泉団地への駅北部について、道路整備の状況はどうか。

市長 現在、用地測量及び物件調査を行っている。将来計画は、令和8年度の完成を目指しており延長570mの市道で4.5億円の事業計画である。

問 東総社駅北改札口の計画はあるのか。

市長 北改札口については、1月25日にJR西日本と協議しており、前向きに進めていこうと思う。

問 小寺ノ1踏切は、危険であるが対策はどうか。

市長 非常に狭あい危険箇所である。また、どこに架設するかも検討しないとイケない。JR西日本の内部規則によりハードルは高いが、交渉に入っていこうと思う。

問 東総社駅南部について、旧市街地に空き家が増えていると思うが、対策はどうか。

市長 伸ばしていくエリアだと考えている。総社一丁目・二丁目では762軒の住居があり、89軒の空き家がある。地域コミュニティと連携して対策を進めていきたい。

問 ミニ区画整理の候補地はあるのか。

市長 マルナカ総社店の北あたりを考えているが、業者の皆さんとの協力でやっていきたい。



6月定例会市議会

一般質問

令和5年6月定例会市議会では、6月15日・16日・19日の3日間にわたり、市政に対する一般質問が行われ、15人の議員が諸問題について質問しました。

問 4月から自転車のヘルメット着用が努力義務となったが、着用率はどうか

答 正確には把握できないが、小・中学校は100%、高等学校は1%未満、成人は低い状況



高谷 幸男

問 安全で適正な利用促進のためのヘルメット着用推進の条例制定は考えられないか。

市長 前向きに考えたい。

問 ヘルメット着用推進のための購入補助金の交付制度は考えられないか。

市長 購入補助金は考えていない。

地域集会所補助金について

問 地域集会所建設費補助金交付要綱について、世界的なエネルギー価格による物価高騰で、建設費も値上がりし、市民個々の負担額も増していることから、補助金限度額及び対象世帯数の見直しはできないか。

市長 平成17年4月から現行制度により実施しており、更に、平成28年4月からはバリアフリーによる修繕整備も追加しているものの、制定から相当年数も経過しており、世帯数の見直しなどの検討を加えたい。

健康づくりについて

問 毎年健康カレンダーを配布し、積極的検診に努めているが、受診率の現状と更なる受診率の向上は考えられないか。

市長 受診率は国保36.3%、後期高齢12%であり、又胃がん3.9%、肺がん3.9%、乳がん18.8%などと低く、更なる向上を図る。

問 今後、国の「健康寿命延伸プラン」を受け、どのように健康寿命と取り組むのか。

市長 全国屈指福祉文化先駆都市会議の中で方針を協議決定したい。

問 被災地区防災拠点施設補助金の目的は何か

答 被災地の活性化のために公会堂や集会所の光熱費や管理運営費を補助するものだ



萱野 哲也

平成30年7月豪雨災害について

問 この補助金について予算調書には「被災地を元々あった姿に近づけていけるよう地域力を上げるための支援をしていく」と書いている。この3年間はコロナで集まりが出来ていない。特に草田・作原・清音黒田地区は世帯数も少なく高齢化も進んでいる。こういった状況でも、元々あった姿に戻ったと思っているから補助を切るのか。

市長 とりあえずは打ち切るが、被災地の意見を聞いて、自由枠交付金か個別に対応していくのかは相談していく。



黒田デイサービスセンター



草田集会所

協定締結について

問 協定先との関係においてペナルティーとは何か。

市長 議員が何度も何度も2週間前に言え言えと言われ、それが守れなかったから協定を延期した。それがペナルティーだ。何かおかしいか。おかしくないと思う。

問 自由枠交付金の額を各地域の実情に合わせて増額できないか

答 人口配分を見直すなどし、増額したいと思っている



溝手 宣良

問 自転車利用者のヘルメット着用率を上げる気はないか。

市長 ある。

問 普及促進策を展開してはどうか。

市長 啓発活動は行うが補助はしない。

問 郊外にも街路灯を増やせないか。

市長 自由枠交付金を活用してほしい。

問 小型特殊自動車(農耕用)への課税が目的でプレートの取得(登録)を促しているが、プレートの装着により公道を走行しても良いと誤解するのではないか。

市長 誤解してしまう所有者が多くいらっしゃると思う。農業委員会だけでなく広報紙等も利用し啓発していく。発行時にも窓口で丁寧に説明するなどしていきたい。

問 市民活動保険の対象になるか否かが分かりにくい。周知も不足していないか。

市長 確かに分かりにくいので、できるだけ分かりやすくしたい。周知もしていく。

問 民地で災害が発生した場合、少しでも市で補助できないか。

市長 「できない」ではなく、市がどうすれば関与できるか、という姿勢で臨みたい。

問 自由枠交付金の算定方法は適切か。また地域事情に応じて増額できないか。

市長 当初は適切であったが現状では人口配分など見直すべきと思う所もある。交付額は増額したいと思う。

問 こども家庭庁が推進する「こどもまんなか社会」、本市ではどのように考えるか

答 子どもに関する政策は、親の都合でなく、子ども主体、子ども本位であるべきだ



山田 雅徳

障害児通所支援事業の現状と課題について

問 児童発達支援、放課後等デイサービスの現状分析、今後の方針はどうか。

教育長 計算上は市内の利用率は8割で、2割程度余裕があるように見えるが、一部事業所への利用の偏り、障がいの種類や程度によって受け入れ可能な事業所に空きがない状況である。保護者や事業所にヒアリングし需要と供給のバランスを見極めたい。

障がい児福祉の所得制限について

問 親の収入が一定金額以上あると、支援策に所得制限がかかり、本来受けられるべき福祉サービスが受けられない障がい児がいる。「所得が多い家庭の方が生活に使えるお金が少ない」という“所得の逆転現象”が起きている状況をどう考えるか。

市長 所得制限により生活に使えるお金が逆転する現象はいかなものかと考える。

問 障がい児の権利を侵害する所得制限の見直しを実現するため、地方自治体としてどのようなことに取り組めるか。

市長 保育料や給食費、医療費の自治体間格差も問題だが、障がい児の生活にかかわる福祉サービスの所得制限はもっと深刻な問題だ。全国市長会を通じ、所得制限撤廃を強く訴えていきたい。市独自の支援策については、来年度の障がい児福祉計画改定時に検討をしたい。

(一般質問のページは質問した議員本人の原稿に基づいています。)*QRコードを読み取ると各議員の一般質問の録画放送にアクセスできます。通信料は自己負担となりますのでご注意ください。

問 マイナンバーと保険証を紐付けた人の数はどれくらいになっているか

答 市が取扱い窓口であるが、自治体ごとの数は公表されていない



仁熊進

マイナンバーについて

問 紙の保険証を残すよう、国に要望してはどうか。

市長 いろいろな問題があって不安であることは分かるが、国の施策なので間違いが起きないように啓発に努めていきたい。

物価高について

問 子ども支援だけでなく、高齢者に対する物価高支援が必要ではないか。

市長 市民が本当に苦しんでいると判断した時は、市単独でも助成しなければならない勇気を持たなければならないと思っています。

動物愛護について

問 ペットの飼育マナーの啓発活動は行っているか。

市長 ホームページや市報で行っているところであるが、消えかけている看板の交換はやっていく。

問 野良猫対策について市が窓口になって愛護活動団体をまとめてほしい。

市長 市が中心となって動物愛護団体とも共同体制を作っていきたい。

学校図書について

問 学校図書購入に地方交付金があるが本市において適正に使われているか。

市長 図書購入のための交付金は約500万円であるが、本市では655万円の予算を割り当てている。

問 緊急小口資金等の特例貸付における返済猶予や免除はどうか

答 返還の猶予や免除の条件があるので、お困りの方はしっかり相談して欲しい



岡崎亨一

図書館事業について

問 電子書籍の導入を考えているか。

市長 今のDXやICT化の時代には、いずれは導入を考えていかなければと思う。

教育長 岡山県が2年間朝読書で試験的に行ったが、上手くいかなかった。GIGAスクール事業としてもいずれは考えなければいけないと思う。

問 都道府県として県内の市町村と協働導入している自治体もあるが、岡山県の状況はどうか。

市長 電子書籍が当たり前になる時代が来ると感じているので県内で相談させて欲しい。

災害救助について

問 災害救助用物資を、「日常生活を営むことが困難になった被災者に対して供給」としているが、本市の考えはどうか。

市長 被災者証明書で考えていきたい。

問 災害時の防犯対策について「被災地外から窃盗団が入り込むことも想定されるため、消防団・自警団等による地域の見守り体制の強化、警察の巡回要請、女性・子どもに対する性犯罪防止策、相談体制強化等の検討が必要」としているが、本市の計画はどうか。

市長 職員の安全にも配慮し警ら体制を考えていきたい。

問 高齢者の健康づくりや賑わい創出の目的で公認のグラウンドゴルフ場を

答 以前検討したこともあり、再度研究する



頓宮美津子

子育て支援について

問 今や、電子母子手帳のDX化は重要課題。共働き世代においては、予防注射やワクチン接種の管理は大変。保護者にとっても、保健師、医療機関にとってもDXはあらゆる面で利便性がある。次年度に向けてぜひ取り組んでほしい。

市長 次年度に向けて、検討している。

防災ハザードマップの避難所について

問 ハザードマップにおける避難所一覧では、地震、水害、土砂災害に分けているが、水害の場合×(いわゆる避難できない印)がついている。いつ避難所があき、いつの時点で移動が可能なのかがよくわからない。改訂版作成の際には、わかりやすく工夫してほしい。また、各避難所でのマニュアルは大変複雑である。概要版でいいのでいざという時のために、避難所運営に携わる可能性のある地域の人にはしっかりと周知徹底してほしい。

答 そのようにしていく。

人口対策について

問 市の誇り・愛着をシビックプライドとって各自治体が人口対策に繋げている。本市はどうか。

答 総合政策部長を中心にしっかり審議して、魅力発信に繋げて、7万人を目指していきたい。

問 総社市の稲作農家の現状についてはどのように考えているのか

答 早急に対策をしていくことが重要である



小西利一

問 稲作農家について具体的にどのような対策をしていくのか。

市長 農地所有者が他者に依頼している農家が594世帯ある。そしてその予備軍が多く隠れている。代行業者とのマッチングを行うことが課題となっている。流動化推進委員139名の協力を得て市が直接関与することで、ニーズの掘り起こしや集約を進める。

人口問題について

問 人口増推進室では今何を行い、今後何を行っていくのか。

市長 人口7万人を目標として子育て王国のさらなる充実や、自由卒交付金の見直し、さらに空き家の有効活用などを行っていく。

問 総社市のすべての地域で持続可能な社会ができ、その時の人口が7万人になっているのが理想ではないか。

市長 それが一番良いことではあるが、とりえず人口7万人を目標として人口減少地域では空き家対策を含め早急に手当てを行っていく。

問 外国人労働者の受入れはどのようになっているのか。

市長 総社市としては外国人労働者の受入れは企業と協力して進めている。

問 あおいハイツの老朽化する汚水処理施設に対し、修繕費の助成ができないか

答 地域住民と話し合い、何らかの助成を行う



荒木将之介



問 クリーンライフ100構想とはどういったものか。

市長 岡山県が策定する下水処理施設整備を図る中長期的な指針だ。

問 この構想を実現していく考えはあるか。

市長 100%を目指して頑張っていく。

問 自治会で独自の集合処理を行っているところがあるが具体的に知っているか。

市長 西坂台とあおいハイツだ。

問 山手の西坂台は公共下水道に接続されるが、あおいハイツを含む久代地区には接続できる施設はない。あおいハイツの独自施設が老朽化して使えなくなる前に、市西部地区にクリーンライフ100構想に従って公共下水道を敷設する考えはないか。

市長 莫大な予算がかかるため、国の補助なしで造るのは困難だ。

問 既存施設を市が維持管理することはできないか。

市長 多額の費用をすべて市が負担するのは難しい。

問 西坂台は旧山手村時代から現在まで処理施設の修繕に対して助成を受けている。久代のあおいハイツにも同様の助成ができないか。

市長 地域住民と話し合い、何らかの助成は行っていく。

問 土木担当員要望は今年度何件する予定か

答 今年度は1655件の要望に対して324件実施予定である



津神謙太郎



問 土木担当員要望への予算増額はできないか。

市長 全体傾向として道路舗装・改修が多く出ているので、前向きに検討したい。

問 危険空き家は何軒あり、どう対処するか。

市長 危険空き家については国の法律で強制することもできるが、持ち主にて撤去改善して頂きたい。これまでも危険な空き家の相談が30件あり、個別訪問や、通知等を送り直接お会いしお願いしたところ、14軒解体して頂いた。改善されないものについては、法に基づき助言、指導を行う。

消防団の体制について

問 消防団員の条例定数及び実員は何人か。

消防長 定数950人、実員896人である。

問 市内に消防機庫はいくつあるのか。

消防長 81機庫ある。

問 積載車、可搬ポンプは何台あるのか。

消防長 積載車は39台ある。可搬ポンプについては積載車に39台、台車に43台、合わせて82台を消防機庫に配置している。

問 消防団の再編についての考えはあるか。地域によっては消防団員が減少し、団員数の格差が生じていると思われるが、消防団全体の組織の再編について考えはあるか。

消防長 昨年度も条例定数の改正の際、団幹部と協議したが再編の要望はなく、当面は現体制でいくこととなった。

問 過疎化が進む地域における学校の具体的な改善対策は何か

答 コミュニティスクールをまずは神在小学校をモデル校として実施したい



三上周治



人口増政策について

問 現状認識と本市の抱える問題とは何か。

市長 平成23年から10年間は右肩上がり、現状は横ばい。高齢化と人口増加地域と減少地域があることが課題である。

問 本市の人口問題への対策は何か。

市長 自由枠交付金の増額を考えている。

人口増に向けたインフラ整備について

問 公共下水道整備は急務と思うがどうか。

市長 人口増に向けたインフラ整備の一つとして公共下水道の整備の重要性は認識しており今後とも引き続き整備を行っていく。

問 あおいハイツの下水処理施設の維持管理について市として何かできないか。

市長 何らかの助成をさせてもらう。

減少地域における学校の課題について

問 過疎化が進む地域における学校の課題は何か。

市長 小規模校の課題として、クラス替えができず人間関係が固定化するなど社会性やコミュニケーション能力が身につけにくいことや集団の中で自己表現したりする環境が作りにくいことなどが考えられる。

問 学校の魅力アップのための新規事業は何か。

教育長 コミュニティスクールの導入、特色事業分を過疎化地域に重点交付、五つ星学園などで多くの児童に来てもらいたい。

問 新庁舎工事壁へ災害復興の思いを込めデザイン壁画を作成してはどうか

答 やって行きたい。復興への思いを壁画にして飾りたいと考える



三宅啓介



豪雨災害からの復興について

問 西日本豪雨より5年の節目を迎え、どういう思いで式典を開催するのか。

市長 犠牲者や被災者に追悼やお見舞いの意を伝えると共に、災害を後世へ語り継ぎ、今後起こるかもしれない災害について被害の軽減に繋がるような式典にしたい。災害支援を頂いたボランティア、自治体職員の方とも関係を持ち続けるためWEB配信を通じて式典に参加してもらう予定である。

問 災害記憶の風化が課題だが、式典は今後も行なっていく考えか。

市長 規模を縮小してでも復興式典は毎年行なっていく。

問 5年の節目を迎え、復興への思いを込めた市民参加によるデザインを、新庁舎建設壁へ作成してはどうか。

市長 障がい者の方々のアートを工事壁に飾る予定だが、復興への思いを込めた復興デザインも市民参加で行い飾りたい。

幼稚園の給食について

問 子どもたちに給食に興味を持ってもらうため、給食配送車のコンテナ部分へデザインを募ってはどうか。

教育長 給食への興味を持つ点で有効と考える。配送業者への許可や維持管理費用がかかることを含め検討したい。

文教福祉委員会

当委員会で審査した案件は、6月定例会では議案7件であり、すべて原案どおり可決しました。(請願1件は採択)

●令和5年度総社市一般会計補正予算(第3号)(議案第42号)(所管部分)

《補正予算の主な内容》

物価高騰等で家計に影響を受けている小・中学校の2・3学期分の給食費無償化及び未就学児のいる世帯に対し給食費等支援金を支給しようとするもの、令和5年度ワクチン接種事業の実施体制確定による必要な経費の計上が主なもの

問 給食費等支援事業について、通園している3歳から5歳のうち給食を希望していない児童のいる世帯や、通園していない未就学児のいる世帯に対する支給方法はどのように考えているか。また、手続

きが遅れた場合はどうか。

答 給食費等支援事業の対象者には、申請案内を送り、申請書を提出してもらう方法を考えている。給食費等支援金は9月から3月までの7ヶ月分を対象で、対象者へ申請案内を送付し、申請書の提出があれば、対象月分の給食費等支援金を支払う予定である。

問 歳入の地域スポーツクラブ活動体制整備事業委託費は、どういったものが対象か。

答 運動部活動の地域移行の実証事業が対象となり、本市では総社中学校、昭和中学校の合同部活動が運動部活動の地域移行に関する実証事業に採択されたものである。合同部活動の実施に必要な借上げバスや休日の指導員報酬に充当していきたいと考えており、今後も部活動の地域移行を進めていくにあたり、対象となるものがあれば、採択してもらえよう申請を行いたい。

総務生活委員会

当委員会で審査した案件は、6月定例会では議案8件であり、すべて原案どおり可決しました。(請願1件は採択、陳情1件は不採択)

●令和5年度総社市一般会計補正予算(第3号)(議案第42号)(所管部分)

問 シティプロモーションについて、製作や発信はいつ頃からしていくのか。

答 市の魅力を伝える動画等の作成とインターネット上の公開、またウェブ広告やイベント等での活用を考えており、事業者に自由な発想で提案いただき、プロポーザル後、秋初旬頃から公開したいと考えている。

問 シティプロモーション委託料をこの時点で計上する背景は何か。

答 本市が選ばれるよう早くイメージを作り上げていき

い。また、新型コロナが5類に移行したことでの動きも戻ってきており、この動きを逃したくないためである。

問 婚活イベントは市内向きか市外向きか。広く市内外から募集する場合、市外に住む選択をされることも考えられるので、総社市に住んでもらうための取組もセットで考えていくべきではないか。

答 市内外を問わず広く募集する。結婚・移住・定住、あるいは関係人口・交流人口を増やす、その効果を期待する。4回実施予定だが、実施後効果を検証し、次のイベントに繋げていきたい。定住については空き家のリノベーションの紹介等も含め考えていきたい。

問 ワンタッチ式テント購入について、宝くじの受託事業収入の助成は毎年あるのか。

答 本事業は毎年実施されており、平成29年度にも購入している。消防団の屋外訓練等

産業建設委員会

だけでなく様々なイベントで活用している。非常に有効なものであり必要に応じ今後も購入を検討する。

当委員会で審査した案件は、6月定例会では議案19件であり、すべて原案どおり可決しました。

●専決処分の承認を求めることについて(令和4年度総社市国民宿舎事業費特別会計補正予算(第3号)(承認第2号)

問 本エレベーターについて、現在ほどのような状態か。

答 本エレベーターは、現在センサー不良による誤動作が発生しているため、装置の機能を無効にしている。

●令和5年度総社市一般会計補正予算(第3号)(議案第42号)(所管部分)

問 国民宿舎サンロード吉備路の指定管理者を選定する委

員に係る報償費を増額するとあるが、いくら増額するのか。

答 今年度について、これまで選定委員に対する報償費を計上していなかったものを、今回新たに3人分予算計上するものである。

●農業委員会の委員の任命に関する同意を求めることについて(同意第9号から同意第23号)

問 今回任命に関する同意を求める農業委員会の委員のうち、1名は農業従事者ではない中立委員とのことだが、その方の主な役割はどうか。

答 法務局等に勤務実績があり、許可を出すことが多い農業委員会において、法令等に詳しい方の意見は非常に貴重で役立つものである。また地域の町内会長や自治会の副会長等も歴任されており、地域の方からも信頼されているため選定した。なお、現在も農業委員会の委員である。

令和4年度政務活動費収支報告書集計表

(単位:円)

議員氏名	交付額	調査研究費	研修費	広報費	広聴費	要請・陳情活動費	会議費	資料作成費	資料購入費	人件費	事務所費	合計
山名 正晃	420,000		13,372	8,530				8,981			240,000	270,883
太田 善介	420,000	106,589		21,384	70,400		148,498	14,750				361,621
荒木将之介	420,000	13,370		59,830								73,200
小野 耕作	420,000	132,660	69,920					26,420				229,000
森安 健一	420,000	23,824	69,920					1,244	6,564			101,552
仁熊 進	420,000			30,000				28,490	2,400	150,000	180,000	390,890
山田 雅徳	420,000		69,920	80,485							231,000	381,405
溝手 宣良	420,000	600	69,920					6,089	42,750		35,290	154,649
三上 周治	420,000		69,920	41,675	10,890			25,332	43,847			191,664
萱野 哲也	420,000			420,800								420,800
三宅 啓介	420,000	4,805						2,650	42,372			49,827
岡崎 亨一	420,000		54,840	7,871				6,475	11,440			80,626
深見 昌宏	420,000	28,603						8,230	34,887			71,720
小川 進一	420,000	12,540						69,900	22,242			104,682
高谷 幸男	420,000	105,375	230,140	7,287				16,030	45,334		19,057	423,223
小西 利一	420,000							31,560				31,560
津神謙太郎	420,000								13,047		15,996	29,043
村木 理英	420,000								230,683			230,683
頓宮美津子	420,000	4,000	209,470					24,214	16,647			254,331
加藤 保博	420,000	66,054						988	37,315			104,357
山口 久子	420,000								40,800			40,800
剣持 堅吾	420,000	68,998	69,920					4,031	91,340			234,289
計	9,240,000	567,418	927,342	677,862	81,290	0	148,498	275,384	681,668	150,000	721,343	4,230,805

※合計金額が交付額を超える部分は自己負担とし、合計金額が交付額に満たない部分は返還しています。

全国から総社市へ！～議会行政視察受入増加中～

新型コロナウイルス感染症の位置付けが、季節性インフルエンザ等感染症と同じ5類に変更されました。そのことにより、個人の選択ではありますが、外出自粛などの要請がなくなりました。総社市においても行政視察の受入を昨年7月から再開していましたが、さらに多くの議会から視察に来られると思います。研修内容としては障がい者千五百人雇用やひきこもり支援などの福祉分野に関するものが多いようです。

5類へ変更されましたが、終息したわけではありませんので、十分注意して受け入れていきます。(三上周治)

(表) 令和4年12月から令和5年5月末までの行政視察受入一覧表。半年で17件の行政視察を受け入れました。

自治体名	視察内容	人数
沖縄県沖縄市	障がい者千五百人雇用	4名(会派)
宮城県名取市	障がい者の就労支援	3名(会派)
奈良県宇陀市	ひきこもり支援事業	11名
北海道旭川市	健康サイクリング事業	1名(会派)
三重県松阪市	移住・定住促進に向けた取組	8名
愛知県岡崎市	外国人防災リーダー養成研修	10名
熊本県八代市	多文化共生事業	9名
兵庫県丹波篠山市	移住・定住施策及び交流人口増加に向けた取組	8名
愛知県岡崎市	ごみ減量化事業	1名
秋田県能代市	教育特区「英語特区」ごみ減量化事業	6名(会派)
島根県浜田市	障がい者千五百人雇用	8名
大分県大分市 大分県竹田市	障がい者千五百人雇用	2名(会派)
島根県雲南市	そうじゃおかえりサポートシステム	5名(会派)
岐阜県郡上市	ひきこもり支援事業	8名
埼玉県三郷市	障がい者千五百人雇用	9名
鳥取県鳥取市	障がい者千五百人雇用	10名
宮城県岩沼市	総社市新庁舎建設	6名



宇陀市議会様



松阪市議会様



岡崎市議会様



八代市議会様



丹波篠山市議会様



浜田市議会様



郡上市議会様



三郷市議会様



鳥取市議会様



岩沼市議会様

編集後記

いつもご覧いただき、誠にありがとうございます。今の広聴広報委員会がスタートし、次にバトンを渡す時である2年が経ちます。これまで、ユニバーサルデザインフォントを使用したり、一般質問のレイアウトや議会報告の工夫をしたりと、委員一人一人がアイデアを出し合っていました。小さな変化ではありますが、2年前と見比べると、大きく変わったと思います。

これからも議会だよりを通じて、市民の皆様と総社市議会との対話をしていきたいと考えておりますので、ご意見やご感想などもお寄せいただけると幸いです。(山名正晃)

◆広聴広報委員会のメンバーは次のとおりです。

- 委員長 山口 久子
- 副委員長 小野 耕作
- 委員 山名 正晃
- 委員 太田 善介
- 委員 荒木将之介
- 委員 三上 周治
- 委員 岡崎 亨一

